

施策名【医療】

章	節	施策		主要施策	事務 事業 コード	事業 数	事務事業	課	係	管理 方法	備考
4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり	1.生涯にわたる健康づくりの推進	3.医療	(1)	地域医療体制の充実	4131-1	1	医師当番対策事業	健康づくり推進課	保健医療政策係	通常	
					4131-2	2	地域医療事務事業	健康づくり推進課	保健医療政策係	通常	
					4131-3	3	浅科診療所管理運営事業	浅科支所	健康づくり推進係	通常	
					4131-4	4	望月医師当番制事業	望月支所	健康づくり推進係	通常	
			(2)	浅間総合病院の充実							

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	医師当番対策事業			事務事業コード	4131-1
担 当	市民健康 部	健康づくり推進 課	保健医療政策 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)		法定根拠		
管理方法	通常				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☒ 委託または指定管理 ☒ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	3.医療
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民が休日においても安定的に医療サービスを受けられている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・在宅当番医制(休日における当番医による診療)を実施する。 実施日時:日曜、祝日、年末年始の午前9時から午後5時まで 実施場所:市内当番医療機関(内科医・その他) 委託先:(一社)佐久医師会 ・佐久地域休日小児科急病診療事業(休日における小児科1次救急診療【風邪や腹痛などの日常的な疾病で入院治療の必要がなく、帰宅可能な軽症な患者さんの診療】)を実施する。 実施日時:日曜、祝日、年末年始の午前9時から(受付:午前8時30分から正午まで) 委 託 先:(一社)佐久医師会	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	11,816		11,722		22,304	
	人件費	0.50 人		0.50 人		0.50 人	
	非常勤職員等	0 時間		0 時間		0 時間	
	人件費合計	3,425		3,635		3,635	
	総事業費	15,241		15,357		25,939	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	800		800		900	
	一般財源	14,441		14,557		25,039	
	財源合計	15,241		15,357		25,939	

令和 5 年度 実施内容	・在宅当番制実施 日曜、祝日、年末年始(12/31～1/3)の4日間 全71日 各日2医療機関 ・休日小児科急病診療事業実施 全71日(浅間総合病院内で開設) ・医療提供体制の確保、及び実施に向けた関係機関との調整、広報等による事業の周知 ・「医師の働き方改革」に伴い、医療機関の負担軽減を図り地域の医療体制を維持していくため、佐久医師会・小諸北佐久医師会・佐久地域11市町村・浅間総合病院・佐久広域連との連携による、「佐久地域平日夜間急病診療センター」の再開の検討。 ・医療機関の上手なかかり方や適切な救急利用についての市民周知・啓発の実施。				
-----------------	--	--	--	--	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
在宅当番医制度実施 日数	日	実績	70	71	
		目標	70	70	70
	%	達成率	100	101	
成果指標	単位				
在宅当番医制度実施 (受診)人数	人	実績	2,128	3,723	
		目標	2,000	2,200	2,200
	%	達成率	106.4	169.2	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	達成	受診者数は、新型コロナウイルス感染症感染が5月に5類へ移行したことも影響し受診控え等も緩和され、前年度比1.6増となった。
官民連携の 可能性	方法	<説明>
	民間による実施が可能	在宅当番医制度は、病院勤務医の負担軽減を図り、医療を安定的に供給することが目的であることから、市と佐久医師会が連携して行っている事業である。
事業の 課題	新型コロナウイルス感染症の感染防止のための受診控えによる重大な疾患の発見の遅れも社会問題となったことから、感染症流行時においても安心して受診ができる環境づくりを進める必要がある。 高齢化の進行により医療ニーズが増加傾向にある中、安心して医療を受けられる体制の整備が求められていることから、これらの状況に対応した地域医療体制の充実を図る必要がある。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の 方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ～ 令和 年度
今後の 取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 在宅当番医制、休日小児科急病診療事業については、事業目的や内容がそれぞれに異なることから、ニーズの把握とニーズに対応した初期救急による安心した医療体制づくりによる持続可能な医療の提供体制の構築に努める。 かかりつけ医を持つことなど、医療機関の上手なかかり方や適切な救急利用について周知・啓発を図るとともに、医療に関する情報提供を市民に対して行う。 令和6年4月に再開した「佐久地域平日夜間急病診療センター」の検証を広域連合と行う。		

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	地域医療事務事業			事務事業コード	4131-2
担 当	市民健康 部	健康づくり推進 課	保健医療政策 係	事業開始年度	平成 17 年度
事業の性質	任意の自治事務(不定型)		法定根拠		
管理方法	通常				
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☒ 補助金・負担金 ☐ その他 ()				

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	3.医療
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市が市民病院や医療関係団体の事業や取り組みに対して支援や協力をする事で、市民が保健医療を安定的に受けられ、安心して健康的な生活を送っている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ○ 各種負担金等の支出〔支出内容〕 ・佐久広域連合病院群輪審制負担金 目的: 休日夜間の救急体制、及び救急患者や重症患者の医療の確保 ・佐久医療センター運営費補助負担金(佐久広域連合経由、佐久医療センターへ) 目的: 救命救急センター、及び周産期医療病床の確保 ・川西保健衛生施設組合病院運営費補助負担金(川西保健衛生施設組合を経由し、赤十字病院へ) 目的: 不採算地区の医療を担う川西赤十字病院の経営安定化と地域医療機関の役割を果たす体制作り ・浅間総合病院特別会計負担金(一般分・医師定住促進事業分) 目的: 浅間病院の経営健全化促進の為、公営企業繰出金による経営基盤の強化、及び医師確保 ・施設整備 ・看護師養成事業補助金 目的: 佐久医師会を通じて、看護要員の確保及び育成に対する支援 ・佐久地区包括医療協議会負担金 目的: 佐久市及び南佐久6町村の医療体制の維持 ・佐久市足育推進協議会負担金 目的: 市も加盟する足育推進協議会の足育の推進及び普及 ○ 佐久市保健・医療等連携会議の事務局(定期開催その他必要に応じ随時開催) 佐久市の保健・医療の提供体制の構築、課題の情報共有、医療機関の連携等について協議	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	1,188,507		1,238,020		1,359,738	
	人件費	0.30 人	2,055	0.50 人	3,635	0.30 人	2,181
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,055		3,635		2,181	
	総事業費	1,190,562		1,241,655		1,361,919	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	59,002		46,400		0	
	一般財源	1,131,560		1,195,255		1,361,919	
	財源合計	1,190,562		1,241,655		1,361,919	

令和 5 年度 実施内容	地域医療の確保、過疎地域における医療供給の安定化等を目的とする負担金等の支出 ・佐久広域連合病院群輪番制負担金 12,826千円 ・佐久医療センター運営費補助負担金 51,849千円 ・川西保健衛生組合病院運営費補助負担金 97,500千円(R5年度～R9年度) ・浅間総合病院特別会計負担金(一般分) 1,019,636千円 ・浅間総合病院特別会計負担金(医師定住促進事業) 7,000千円 (@3,500千円×医師1名) ・佐久市足育推進協議会負担金 200千円 ・看護師養成事業補助金 500千円 ・医療機関等物価高騰対策事業交付金 48,290千円
-----------------	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
佐久市医療体制等連絡懇話会を承継する新会(現:佐久市保健医療等連携会議)による協議の開催	回	実績	0	0	
		目標	1	1	1
	%	達成率	0	0	
成果指標	単位				
地域医療の確保及び支援の為に負担金等を支出した事業数	件	実績	9	8	
		目標			7
	%	達成率			

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	・佐久市保健医療等連携会議 開催0回(関係団体と協議のうえ令和5年度は開催しないこととした) ・全負担金件数(8件)のうち、過疎地域における医療供給の安定化として川西赤十字病院に対して1件97,500千円を支出した。(R5年度～R9年度まで予定)
官民連携の可能性	方法	<説明>
	民間による実施が可能	地域医療について、行政、市民、医療機関が三位一体となり、お互いに理解を深めるため、適切な情報発信や関係機関との協議の場は市が設ける必要がある。
事業の課題	医療機関の偏在、医療ニーズが増加傾向にある中、安心して医療を受けられる体制の整備が求められており、状況に対応した地域医療体制の充実を図る必要がある。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ～ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> ・関係機関と連携し、医療ニーズの把握とニーズに対応した初期救急により安心した医療体制づくり、及び医療に関する情報提供に取組み、持続可能な医療の提供体制の構築に努める。 ・各団体への負担金、補助金等について、引き続き適正性の維持に努める中で支援していく。支援については、現状の把握や内容精査などを行ったうえで適宜見直しを進める。 なお、川西保健衛生組合病院運営費補助負担金については構成市町と協議をした結果、令和5年度～令和9年度予定で負担金を増額し継続支援を実施する。 ・過疎地域において安定した医療提供を図るため、当該地域、公的病院に対して支援などを行う。		

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	浅科診療所管理運営事業				事務事業コード	4131-3
担 当	総務 部	浅科支所 課	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠	医療法		
管理方法	通常					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 ()					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	3.医療
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 地域住民が、浅科地域にある施設・整備が整った診療所で、安心して最良の診療を受けている。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること 1 診療科目 内科、整形外科 2 診療日及び時間 現在は月・火・水の午前中(月・水は内科診療、火は整形外科診療)の診療だが、診療体制が整い次第開所日を増加していく予定。土日、休日、祝祭日及び12月29日から翌年1月3日までを除く。 3 医師派遣 内科医は佐久総合病院より、整形外科医は浅間総合病院から派遣を依頼し、それぞれ医師派遣委託料及び医師派遣負担金を支出する。 4 診療内容 診療、薬剤又は治療材料の投与及び支給、療養の指導及び相談 5 職員配置 事務については、兼務の常勤職員1名の配置とともに、医療事務の資格を持つ臨時職員を2名雇用し、医療費の収納、レセプト点検、診療報酬請求を行う。 看護師は常勤職員1名、臨時職員2名の3名体制。 6 施設管理等 医療機器は購入及び賃貸借を行い、設備及び医療機器等の保守点検は専門業者に委託。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	20,285		11,490		15,691	
	人件費	1.35 人	9,248	1.35 人	9,815	1.35 人	9,815
	非常勤職員等	1819 時間	2,268	1852 時間	2,325	1944 時間	2,855
	人件費合計	11,516		12,140		12,670	
	総事業費	31,801		23,630		28,361	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	12,842		5,217		10,903	
	一般財源	18,959		18,413		17,458	
	財源合計	31,801		23,630		28,361	

令和 5 年度 実施内容	浅間総合病院に週1回整形外科医の派遣、佐久総合病院に週2回内科医の派遣を依頼し、週3回の診療を行った。 診療は、月・火・水の午前中、年間146日開所し、延べ受診者数は1,526人				
-----------------	--	--	--	--	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
診療所開所日数	日	実績	146	146	
		目標	240	243	243
	%	達成率	60.8	60.0	
成果指標	単位				
受診患者数	人	実績	1,502	1526	
		目標	5,000	2,400	2,400
	%	達成率	30.0	63.5	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	平成24年度に派遣医師が退職し、平成25年度以降医師確保が困難となり診療体制が徐々に縮小。 平成27年度から週3日(月・火・水)午前中のみ診療体制に縮小し、診療を行っている。 令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響(受診控え等)や、患者の病状の重症化等による他医療機関への転院や施設への入所により年々受診者減となっていたが、令和5年度は、新規患者増により受診者数微増となった。 開所日においては、地域の診療所としての役割は果たせていると考える。
官民連携の可能性	方法	<説明>
	市が実施する必要がある	地域における診療所として村立で開所された歴史的経過から、公共性が非常に高い施設である。 また、全国的な医師不足が深刻化する中、現状においては、全面的な民間委託は困難な状況である。
事業の課題	施設建設後十数年が経過する中、建物設備、医療機器の故障が生じてきている。計画的な修繕や更新が必要である。 地域のニーズに対応するため、診療所の医師確保に努めるとともに、業務委託や指定管理者制度等も視野に入れ検討していく必要がある。 平成29年度に医師確保が厳しい中、派遣元の病院と協議し、1回あたりの医師派遣の金額を上げ、診療日数を減らし医師派遣に至った。 令和元年10月には消費税が10%に改定され、令和2年度から1回あたりの医師派遣の金額を上げた。 今後も引き続き、診療体制を縮小しないための協議を派遣先の病院としていく必要がある。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の方向性	手法等の見直し	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 地域のニーズに対応するため、診療所医師の確保に努めるとともに、今後の診療所の在り方を地域及び関係機関と十分に協議し、業務委託や指定管理者制度の導入も視野に入れ検討していく。		

令和 6 年度 事務事業評価シート (評価対象 令和 5 年度実施事業)

事業名	望月医師当番制事業				事務事業コード	4131-4
担 当	総務 部	望月支所 課	健康づくり推進 係	事業開始年度	平成 17 年度	
事業の性質	義務的自治事務(不定型)		法定根拠			
管理方法	通常					
実施方法	☒ 市が直接実施 ☐ 委託または指定管理 ☐ 補助金・負担金 ☐ その他 (					

1. 事業概要「Plan(計画)」

総合計画上の位置付け	章	4.豊かな暮らしを育む健康長寿のまちづくり
	節	1.生涯にわたる健康づくりの推進
	施策	3.医療
目的・成果	※わかりやすく簡潔に記載すること 市民に対して必要な医療を提供することにより、市民の健康の保持及び増進が図られる。	
事業内容 (手段・方法など)	※活動内容や提供するサービスについて簡潔に記載すること ・佐久市春日出張診療所:御鹿の郷地域ふれあいセンターにおいて川西赤十字病院(第2・4金曜日)岡田医院(第1・3水曜日)の医師が午後2時30分から午後4時まで診療業務を行う。委託料・負担金なし(診察室の提供のみ) ・佐久市布施出張診療所:布施出張診療所において浅間総合病院の医師が毎月第2火曜日午後1時から4時まで診療業務を行う。(負担金:年額324千円) ・佐久市湯沢無医地区出張診療所:湯沢公民館にて岡田医院の医師が毎週金曜日午後2時から午後4時まで診療業務を行う。(委託料:年額564千円) ・各診療所の診療日時の周知は、年度末に次年度診療予定表を対象地区全戸に配布する。	

2. 実施結果「Do(実施)」

単位(千円)

※事業実施年度までは決算、実施年度の翌年度は予算		令和 4 年度		令和 5 年度		令和 6 年度	
コスト	事業費	873		888		912	
	人件費	0.35 人	2,398	0.35 人	2,545	0.35 人	2,545
	非常勤職員等	0 時間	0	0 時間	0	0 時間	0
	人件費合計	2,398		2,545		2,545	
	総事業費	3,271		3,433		3,457	
財源内訳	特定財源(国・県支出金等)	0		0		0	
	一般財源	3,271		3,433		3,457	
	財源合計	3,271		3,433		3,457	

令和 5 年度 実施内容	布施出張診療所: 浅間総合病院の医師が12回実施 湯沢無医地区出張診療所: 岡田医院の医師が47回実施 受診者 28人 受診者 89人
-----------------	--

活動指標	単位		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
布施出張診療所開設 回数	回	実績	11	12	
		目標	12	12	12
	%	達成率	91	100	
成果指標	単位				
布施出張診療所開設 受診者数	人	実績	28	28	
		目標	30	30	30
	%	達成率	93	93	

3. 事業の分析「Check(評価)」

達成状況	達成度	<説明>
	概ね達成	・受診者数については、受診者の減少に伴い目標は達成できなかったが、布施出張診療所においては、開設日は達成できた。
官民連携の 可能性	方法	<説明>
	市が実施する 必要がある	・過疎地域における高齢者の増加及び交通弱者の増加に伴い、市が必要な医療(出張診療所)を提供することにより、健康の保持及び増進を図ることができるため、市の関与が必要である。
事業の 課題	・各出張診療所の受診者数が減少した場合、休止・廃止を含め地元区長等を交えて検討しなければならない。	

4. 今後の方向性「Action(改善)」

所管課等としての評価

事業の 方向性	現行どおり	期間・時期	令和 年度 ~ 令和 年度
今後の 取組方針	<課題に対する解決策、取組み方針等を記載> 春日出張診療所・湯沢無医地区出張診療所については、受診者は減少気味ではあるが市が必要な医療を提供することにより、健康の保持及び増進を図ることができている。 今後も医療の提供が継続できるよう利用者・地元区長や地域住民の意見を伺い、医療機関と協議し運営方法について検討していく。 布施出張診療所については、月1回の開設で継続していく方向。受診者がいなくなるまでは開設は継続の方向だが、今後も受診者や地元区長と状況を共有しながら検討していく。		